
エレクトーン演奏グレード10～6級
受験要項

2025年11月改訂版

Ver.VI

もくじ

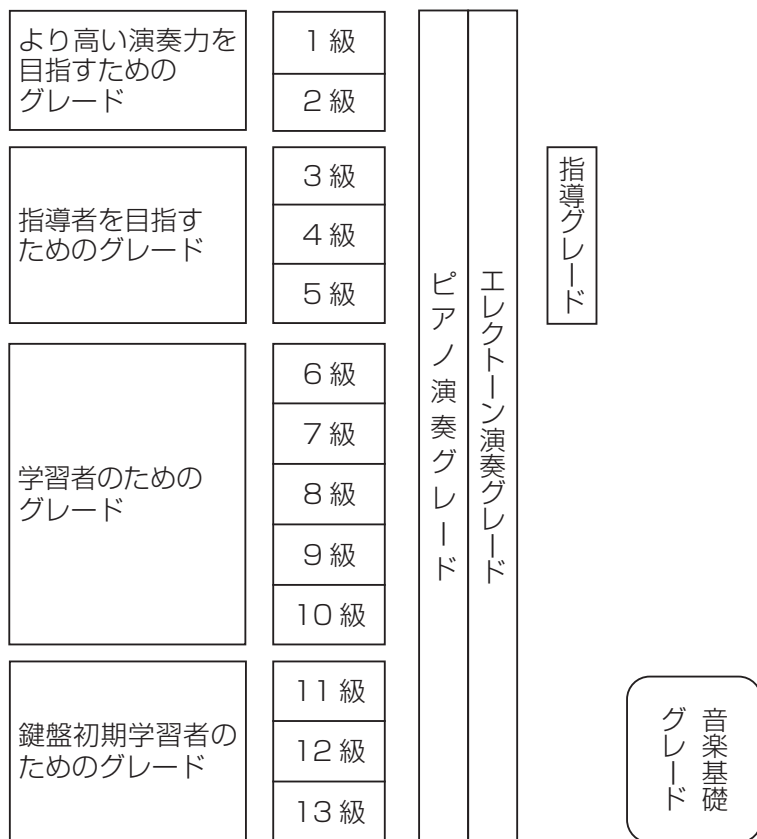
本ページの各項目名をクリックすると
PDFの該当するページへ移動します。

I	<u>ヤマハ音楽能力検定制度（ヤマハグレード）の概要</u>	2
II	<u>試験要項</u>	3
III	<u>試験の概要・試験の流れ</u>	4
	A コース	4
	B コース	6
IV	<u>試験内容</u>	10
	<u>自由曲・課題曲</u>	10
	1. 規定曲数 2. 選曲について	10
	3. 受験する際の留意点	11
	4. A コース課題曲 曲集（曲目）リスト	12
	<u>編曲演奏（A コースのみ）</u>	16
	(10・9 級) 試験実施方法、課題例、実施例、演奏例、編曲演奏課題	16
	(8・7 級) 試験実施方法、課題例、実施例、演奏例、編曲演奏課題	22
	(6 級) 試験実施方法、課題例、実施例、編曲演奏課題	31
	<u>初見演奏（B コースのみ）</u>	39
	<u>試験実施方法・各級における出題範囲</u>	39
	(10 級) 課題例	39
	(9 級) 課題例	40
	(8 級) 課題例	41
	(7 級) 課題例	42
	(6 級) 課題例	43
	<u>伴奏づけ（10～8 級 B コースのみ）</u>	44
	<u>各級における出題範囲</u>	44
	(10 級) 課題例、試験実施方法	44
	(9 級) 課題例、試験実施方法	46
	(8 級) 課題例、試験実施方法	48
	<u>即興演奏（7・6 級 B コースのみ）</u>	50
	<u>各級における出題範囲</u>	50
	(7 級) 課題例、試験実施方法	50
	(6 級) 課題例、試験実施方法	53
	<u>聴奏（B コースのみ）</u>	57
	<u>各級における出題範囲（10～8 級）</u>	57
	(10 級) 課題例、試験実施方法	57
	(9 級) 課題例、試験実施方法	60
	(8 級) 課題例、試験実施方法	64
	<u>聴奏 7・6 級（B コースのみ）</u>	68
	<u>各級における出題範囲</u>	68
	(7 級) 課題例、試験実施方法	68
	(6 級) 課題例、試験実施方法	71
V	<u>結果通知について</u>	74
VI	<u>合否について</u>	74
VII	<u>参考資料</u>	76
	<u>スケールとカデンツ（B コース 10 級～8 級の出題範囲）</u>	76

I ヤマハ音楽能力検定制度(ヤマハグレード)の概要

1967年に制定されたヤマハ音楽能力検定(ヤマハグレード)は、現在までに30以上の国と地域で実施され、受験者は1,000万人を超えて、音楽力の社会的評価基準として信頼されています。

ヤマハグレードは受験者の音楽力や目標に合わせてグレードの種類や級に分かれており、音楽を学んでいる方が、「現在どんな力がついていて」「今後どこに力をいれるべきか」を確認しながら音楽力を身につけていくことができます。

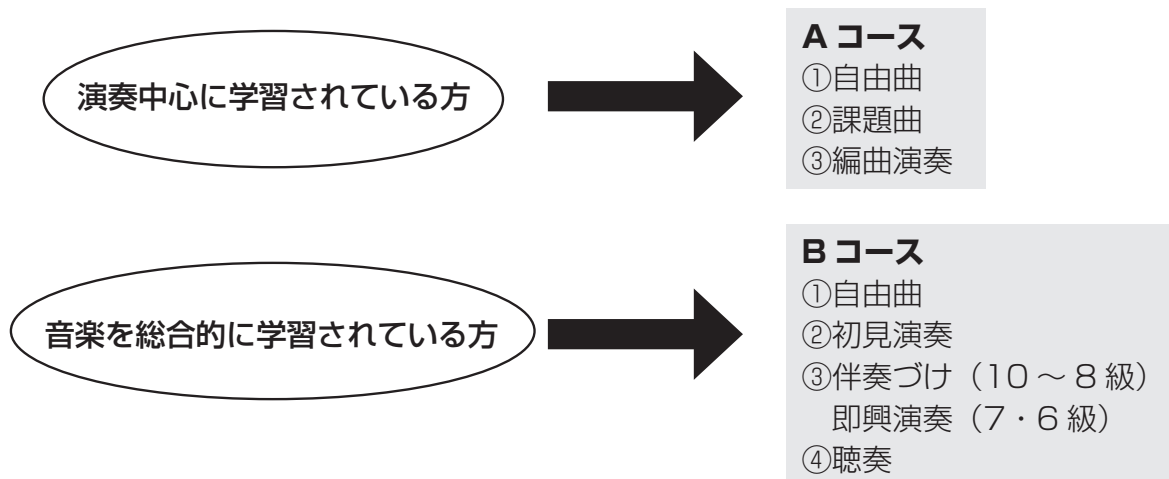


※1級は現在試験を設けておりません。

(2025年11月現在)

エレクトーン演奏グレード 10～6級

音楽を学んでいる方や趣味で楽しんでいる方が主な対象者の10～6級には2つのコースが用意されていますので、学習の目的に応じて選択して受験していただけます。



II 試験要項

- ① 受験資格 すべての試験について、年齢、学歴、国籍等の制限はありません。但し、試験は日本語のみでの対応となります。
- ② スケジュール 10～6級の試験はヤマハ特約楽器店が主催しています。
試験実施日につきましては、ヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。
〈ヤマハ音楽教室にお通いの方〉
担当の先生もしくはお通いのレッスン会場にお問い合わせください。
〈ヤマハ音楽教室以外のレッスンにお通いの方〉
お近くのヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。
- ③ 申込方法 ヤマハ音楽教室に用意している申込書に記入し、受験料を添えて、お受けになる試験会場へ直接お申し込みください。追って会場より試験当日のご案内をいたします。なお、お客さまのご都合によるお申し込み後の変更や受験料の返却は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

④ 受験料

	10級	9・8級	7・6級
受験料	5,500円(税込)	6,600円(税込)	7,700円(税込)

- ⑤ 試験官 ヤマハ音楽振興会が認定した試験官2名
- ⑥ 試験で使用するエレクトーン機種 試験の時に使用できるエレクトーンの種類及び記録用メディア(ストレージ)は、会場ごとに決められています。希望の種類・メディアが使えるかどうかは、受験する会場におたずねください。
エレクトーン MDR 機能は使用可能です。自由曲では市販のレジストデータをそのまま用いることもできます。
MDR 機能の使用範囲についてはレジスト情報(レジストデータの呼び出しと1～16のレジストメモリーのチェンジ、シーケンスのON、リズム START / STOP の情報、NEXT SONG 及び NEXT SONG+ の情報)の再生とテンポのパーセント変更の使用のみとします。上記以外のコントロール情報(パネル上の音色の変更、ボリュームの変更、テンポダイヤルや2nd Exp. によるリズムテンポの変更、また Exp.、2nd Exp. の情報等)、及び演奏情報(XG音源によるサポートデータを含む)の再生は不可とします。
- ⑦ 結果通知 試験の結果は、実施後1ヶ月程度でヤマハ音楽振興会から、受験会場、あるいは担当の先生を通してご通知いたします。

合格者には「合格証書」として送られます。

- * 結果通知の郵送を希望される場合は、申込時に郵送料を添えてお申し込みください。
- * 結果通知は日本語のみでの対応となります。

■ 結果通知印字の氏名表記について、諸般の事情により2025年10月末をもって「外字」の対応を終了し類似文字に置換することといたします。2025年11月1日試験実施日以降より、申込用紙にご記入いただいた文字は、原則としてJIS第1水準、第2水準の文字を使用いたします。また同水準に含まれない文字「外字」は類似文字で置換するものとし、類似文字が見つからない場合には姓名とも全てカタカナ表記といたします。

■ 「合格証書」の再発行受付期間は試験日より1年以内とさせていただきます。受験会場までお申し込みください(再発行手数料:1,100円(税込))。

試験日より1年以上経過した場合は、10年以内で受験日・会場・級がおわかりになっている場合のみ「合格証明書」を発行いたします。ただし、「合格証明書」には到達度(点数)やアドバイス文章は記載されません。詳細は[ヤマハ音楽振興会グレードサイト](#)にてご確認ください。(発行手数料:2,200円(税込))

- ※ 実施人数に満たない場合や天候・交通機関等の状況により、試験が延期・中止される場合があります。中止の場合の受験料は返金となります。
- ※ 試験内容を記録(録音・撮影・転記等)することを禁止いたします。
- ※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

Ⅲ 試験の概要・試験の流れ

Aコース

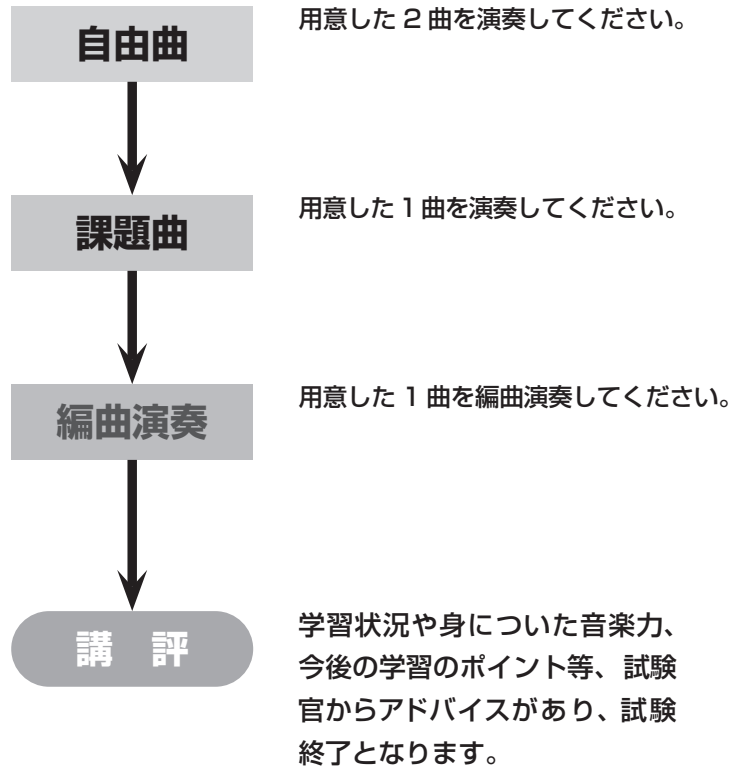
1. 試験の概要 ※詳細はⅣ 試験内容をご確認ください

	①自由曲	②課題曲	③編曲演奏	③の調と拍子の範囲	③のコードネーム・和音の種類等
6級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー6級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー6級」	16～32小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P36-38)から1曲選び、2コーラス以上に編曲演奏する。	#、b1個までの長調、短調 $\frac{4}{4}$ 、 $\frac{2}{2}$ 、 $\frac{3}{4}$	長3、短3、属7(副属7含)の和音
7級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー7級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー7級」	16小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P28-30)から1曲選び、2コーラスに編曲演奏する。	ハ長調 へ長調 ト長調 $\frac{4}{4}$ 、 $\frac{2}{2}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $(\frac{2}{4})$ [※]	各調のI、IV、II ¹ 、V ₇ 、副属7の和音
8級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー8級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー8級」	16小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P28-30)から1曲選び、1～2コーラスに編曲演奏する。		
9級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー9級」 「新こどものエレクトーン・レパートリー9級」	8小節程度のコードネーム付メロディーの課題(P20-21)から1曲選び、1～2コーラスに編曲演奏する。	ハ長調 $\frac{4}{4}$ 、 $\frac{2}{2}$	C、G7
10級	2曲用意し、 2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意する。 「新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.1」 「新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.2」 「新こどものエレクトーン・レパートリー10級 Vol.1」 「新こどものエレクトーン・レパートリー10級 Vol.2」			

※7級課題例「ヤンキー・ドゥードル」のみ $\frac{2}{4}$ となっております。

2. 試験の流れ

試験は次の流れで行います。試験室には受験者ご本人のみ入室いただきます。



*それぞれの項目がスムーズに進まない場合には、試験官がフォローをしながら進めていきます。

※詳細は試験内容をご確認ください。

※ 試験内容を記録すること(録音・撮影・転記等)を禁止いたします。
※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

Bコース

1. 試験の概要

	①自由曲	②初見演奏	③即興演奏	④聴奏	②～④の範囲	
					調と和音	拍子
6級	2曲用意し、 2曲演奏する	12～16小節程度の 3段楽譜	12～16小節程度のメロディー に伴奏づけをし、続けて曲全体 を変奏する	8小節程度の 3段楽譜	P.8 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$
7級	2曲用意し、 2曲演奏する	12～16小節程度の 3段楽譜	8小節程度のメロディーに伴奏 づけをし、続けて曲全体を変奏 する	8小節程度の 3段楽譜	P.8 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$

	①自由曲	②初見演奏	③伴奏づけ	④聴奏 メロディー聴奏 ハーモニー聴奏	②～④の範囲	
					調と和音	拍子
8級	2曲用意し、 2曲演奏する	8小節程度の 2段楽譜	8小節程度のメロディーに和音 づけをし、続けてそれを伴奏の 形で演奏する	・8小節程度の メロディー ・4～6小節程度 のカデンツ ※Ⅱ ¹ (Ⅱ ₆)は 含まない	P.7 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$
9級	2曲用意し、 2曲演奏する	8小節程度の 2段楽譜	8小節程度のメロディーに和音 づけをし、続けてそれを伴奏の 形で演奏する	・4小節程度の メロディー ・4～6小節程度 のカデンツ	P.7 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$
10級	2曲用意し、 2曲演奏する	4小節程度の主とし てメロディーとベース による2段楽譜	8小節程度のメロディーに和音 づけをし、続けてそれを伴奏の 形で演奏する	・4小節程度の メロディー ・4小節程度の カデンツ	P.7 参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$

〈初見演奏、伴奏付け、即興演奏、聴奏のレジストについて〉

グレード事務局ウェブサイトに掲載しているレジストデータを事前に USB メモリーに保存し、試験当日に持参
いただくようお願いいたします。なおレジストデータは、加工することのないようお願いいたします。

即興演奏（7・6級）のレジストについては「グレード事務局が準備したレジスト」あるいは「受験者ご自分で
工夫したレジスト」のどちらも使用可能です。

レジスト内容についても、ウェブサイトに掲載していますので合わせてご確認ください。

レジストデータの掲載場所：

http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/examination/electone/grade10-6_201811.html#t03

※受験要項が掲載されている場所に、レジストデータも掲載しています。

Bコース 10～8級：初見演奏・伴奏づけ・聴奏の出題範囲（調と和音）

※下記のいずれかの調が出題されます。

10級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
和音	I、V ₇		

9級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		b1	ニ短調
和音	I、IV、V ₇		

8級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		b1	ニ短調
和音	I、IV、V、V ₇ 、II ¹ (II ₆)、I ² (I ₆)		

Bコース7・6級：初見演奏・即興演奏・聴奏の出題範囲（調と和音）

※下記のいずれかの調が出題されます。

※和音は適宜転回形を用います。

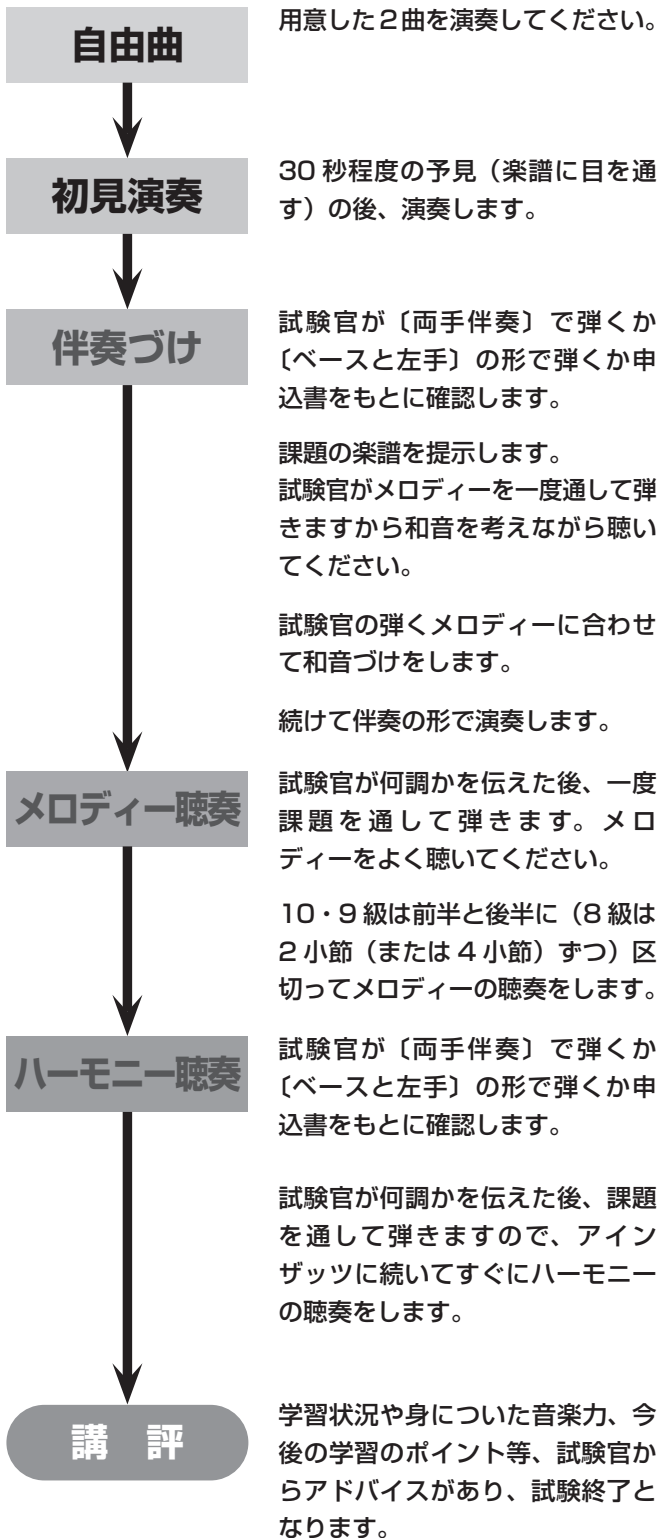
7 級			
調	長調	#1	ト長調
		#2	ニ長調
		b1	ヘ長調
		b2	変口長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		b1	ニ短調
		b2	ト短調
和音	I、IV、V、V ₇ 、II		

6 級					
調	長調	#1	ト長調		
		#2	ニ長調		
		#3	イ長調		
		b1	ヘ長調		
		b2	変口長調		
		b3	変ホ長調		
	短調	#1	ホ短調		
		#2	ロ短調		
		b2	ト短調		
		b3	ハ短調		
		和音	I、IV、V、V ₇ 、VI、II、V̇ ₇		

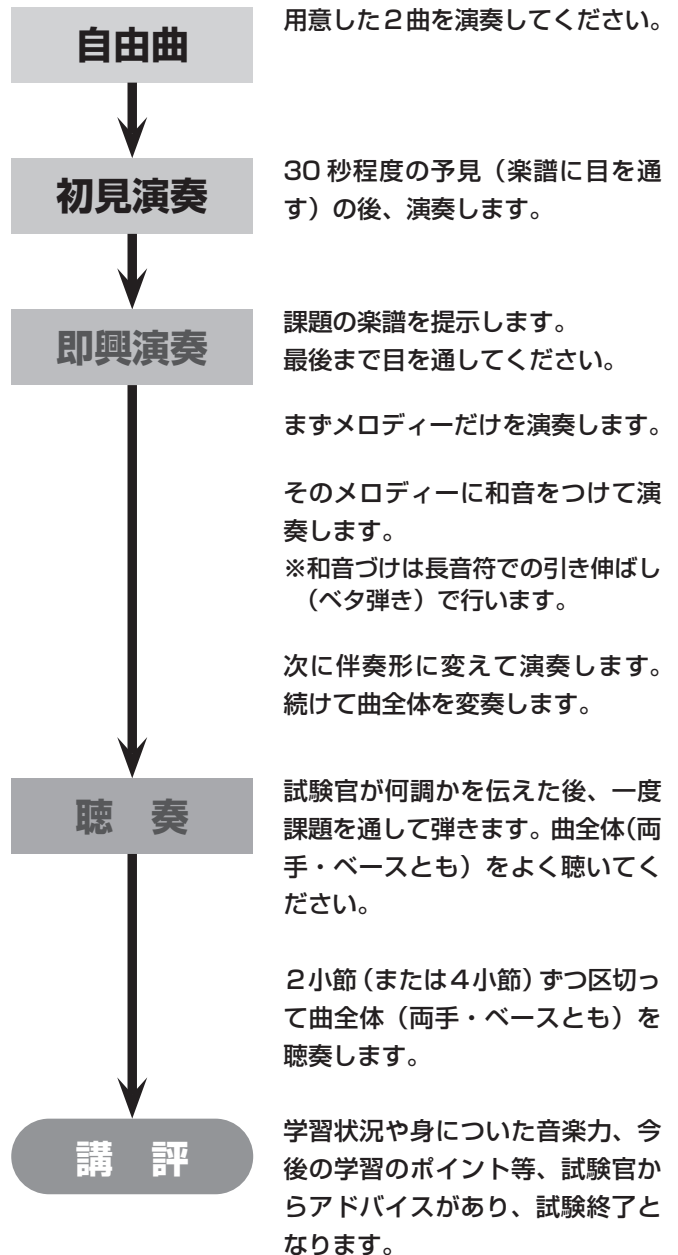
2. 試験の流れ

試験は次の流れで行います。試験室には受験者ご本人のみ入室いただきます。

10～8級



7・6級



*それぞれの項目がスムーズに進まない場合には、試験官がアドバイスしたり、フォローをしながら進めていきます。

※詳細は試験内容をご確認ください。

※ 試験内容を記録すること（録音・撮影・転記等）を禁止いたします。
※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

IV 試験内容

自由曲・課題曲（Aコースのみ）

人前で演奏できる曲を持っていること、また、増えていくことの喜び、それが自由曲や課題曲の醍醐味です。「こんな風に表現したい」というイメージをもって意欲的に反復練習することが何より大切です。各級にふさわしい表現力や、基礎技術が判定されます。

1. 規定曲数

自由曲	10～6級	Aコース・Bコース共通	2曲用意し、2曲演奏する
課題曲	10～6級	Aコースのみ	指定された曲集（曲目）の中から1曲を用意し、演奏する

※自由曲に自作曲（自編曲）を1曲含めることが可能です。その場合は申込用紙の曲目表にその旨をお書きください。先生あるいは友人等の作曲（編曲）した楽曲も自作曲（自編曲）の扱いになります。

2. 選曲について

偏りのない選曲を心がけましょう。類似した曲が重複しないよう、できるだけ多様なジャンル・傾向の楽曲を組み合わせる選曲することが望まれます。

自由曲

- 1) ヤマハ発刊の出版物に掲載され、グレードの級表記のあるもの、もしくはそれらと同程度の楽曲を規定の曲数ご用意ください。
※受験する級の表記のある楽曲、または同程度の楽曲の受験を基本といたしますが、受験級と違う級の楽曲も選曲することは可能です。例）9級受験の場合に、8級に該当する曲を選曲する
- 2) ヤマハ音楽教育システム各コースにお通いの方はテキストから選曲することができます。担当の先生とご相談ください。
- 3) jet テキストの曲を選曲することができます。担当の先生とご相談ください。
- 4) サポート付楽曲（サポートデータ付き楽曲）での受験はできません。MDRでの演奏情報の再生、XG音源も一切使用できません。詳しくはP.3の「試験で使用するエレクトーン機種」のMDR機能の使用範囲をご確認ください。
- 5) 合唱曲の伴奏など他楽器とのアンサンブルで一つの音楽となっている曲については、自由曲として選択することはできません。
- 6) 受験級と選曲の関係は厳密なものではありません。受験する際は曲の難易度を考慮するだけでなく、ご自身の演奏力を十分発揮できるよう準備をすることが大切です。担当の先生、保護者の方とご相談の上、受験者ご自身でお決めください。

課題曲

12～14ページの「4. Aコース課題曲 曲集（曲目）リスト」の中から選曲してください。

3. 受験する際の留意点

- 1) 暗譜が望ましいですが、楽譜を見てもかまいません。楽譜を見て演奏する場合は、試験室での譜めくりの依頼は受け付けていません。受験者ご自身でできるよう工夫してください。
- 2) 演奏する曲の楽譜を必ず全曲持参してください。
- 3) 演奏は時間の都合上、カットさせていただくことがあります。ご了承ください。但し、このことにより判定に影響することはありません。
- 4) タブレットやスマートフォンは録音機能があるため、試験室内に持ち込み楽譜を表示させて演奏することはできません。

4. Aコース課題曲 曲集(曲目)リスト

10級			
TGTO1095876 【新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.1】		TGTO1095885 【新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.1】	
タラのテーマ	作曲/Max Steiner エレクトーン編曲/古賀かおり	キラキラ星	フランス民謡 エレクトーン編曲/小林陽一
茶色のこびん	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/小林淑子	小さな世界	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
絲綢之路	作曲/喜多郎 エレクトーン編曲/小林陽一	ロンドン橋	イギリス民謡 エレクトーン編曲/峰村知子
さくら さくら	日本古謡 エレクトーン編曲/水野義子	いつも何度でも	作曲/木村 弓 エレクトーン編曲/古賀かおり
オーラ・リー	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/篠崎秀子	びっくりシンフォニー	作曲/F. J. Haydn エレクトーン編曲/篠崎秀子
よろこびの歌	作曲/L. v. Beethoven エレクトーン編曲/鳥居達子	サザエさん	作曲/筒美京平 エレクトーン編曲/稲垣千章
地上の星	作詞・作曲/中島みゆき エレクトーン編曲/矢口理津子	ドナウ河のさざなみ	作曲/I. Ivanovici エレクトーン編曲/矢口理津子
スケーターズ・ワルツ	作曲/E. Waldteufel エレクトーン編曲/稲垣千章	聖者の行進	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/稲垣千章
TGTO1095877 【新エレクトーン・レパートリー10級 Vol.2】		TGTO1095886 【新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.2】	
黒い瞳	ロシア民謡 エレクトーン編曲/長野洋二	ユー・アー・マイ・サンシャイン	作曲/J. Davis エレクトーン編曲/矢口理津子
北の国から 一逢かなる大地より	作曲/さだまさし エレクトーン編曲/稲垣千章	ねこバス	作曲/久石 譲 エレクトーン編曲/篠崎秀子
ふるさと	作曲/岡野貞一 エレクトーン編曲/小林淑子	10人のインディアン	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/水野義子
家路	作曲/A. Dvořák エレクトーン編曲/古賀かおり	チャパネカス	メキシコ民謡 エレクトーン編曲/長野洋二
星に願いを	Music by Leigh Harline	スーパーカリフラジリスティック エクスピアリドージャス	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
峠のわが家	アメリカ民謡 エレクトーン編曲/峰村知子	美しく青きドナウ	作曲/J. Strauss II エレクトーン編曲/小林淑子
花	作曲/喜納昌吉 エレクトーン編曲/鳥居達子	ハム太郎 ととこうた	作曲/河井リツ子 エレクトーン編曲/小林陽一
アマポーラ	作曲/Jose Ma Lacalle エレクトーン編曲/矢口理津子	カチューシャ	作曲/M. I. Blanter エレクトーン編曲/鳥居達子

9級

TGT01095878 【新エレクトーン・レパートリー9級】		TGT01095887 【新こどものエレクトーン・レパートリー 9級】	
ジャンバラヤ	作曲／Hank Williams エレクトーン編曲／小林淑子	村祭り	文部省唱歌 エレクトーン編曲／長野洋二
シェリト・リンド	メキシコ民謡 エレクトーン編曲／矢口理津子	シューベルトの子守歌	作曲／F. Schubert エレクトーン編曲／鳥居達子
君の瞳に恋してる	作曲／Bob Crewe and Bob Gaudio エレクトーン編曲／小林陽一	アルプス一万尺	アメリカ民謡 エレクトーン編曲／峰村知子
愛のロマンス	スペイン民謡 エレクトーン編曲／矢口理津子	くまのプーさん	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
愛のあいさつ	作曲／E. Elgar エレクトーン編曲／古賀かおり	アイアイ	作曲／宇野誠一郎 エレクトーン編曲／古賀かおり
もののけ姫	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／稲垣千章	森へ行きましょう	ポーランド民謡 エレクトーン編曲／鳥居達子
ラ・クンパルシータ	作曲／Gerardo Matos Rodriguez エレクトーン編曲／稲垣千章	行商人(コロブチカ)	ロシア民謡 エレクトーン編曲／小林陽一
ホール・ニュー・ ワールド	Music by Alan Menken	君をのせて	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／篠崎秀子

8級

TGT01095879 【新エレクトーン・レパートリー8級】		TGT01095888 【新こどものエレクトーン・レパートリー 8級】	
ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡 エレクトーン編曲／長野洋二	バッハのメヌエット	作曲／J. S. Bach エレクトーン編曲／松井みか
メリー・クリスマス・ ミスター・ローレンス	作曲／坂本龍一 エレクトーン編曲／鳥居達子	さんぽ	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／矢口理津子
夏の思い出	作曲／中田喜直 エレクトーン編曲／古賀かおり	ララルー	Words and Music by Peggy Lee and Sonny Burke
旅立ち	作曲／久石 譲 エレクトーン編曲／篠崎秀子	おどるポンポコリン	作曲／織田哲郎 エレクトーン編曲／小林陽一
パリの空の下	作曲／Hubert Giraud エレクトーン編曲／小林淑子	ドナドナ	作曲／Sholom Secunda エレクトーン編曲／稲垣千章
ラブ	作曲／Bert Kaempfelt and Milt Gabler エレクトーン編曲／稲垣千章	通りゃんせ	わらべうた エレクトーン編曲／峰村知子
太陽にほえろ！ メインテーマ	作曲／大野克夫 エレクトーン編曲／小林陽一	ねこぶんじゃった	作曲者不詳 エレクトーン編曲／長野洋二
愛の夢 第3番	作曲／F. Liszt エレクトーン編曲／矢口理津子	大きな古時計	作曲／H. C. Work エレクトーン編曲／篠崎秀子

7級

TGT01095880 【新エレクトーン・レパートリー7級】		TGT01095889 【新こどものエレクトーン・レパートリー 7級】	
美女と野獣	Words by Howard Ashman Music by Alan Menken	チム・チム・チェリー	Words and Music by Richard M. Sherman and Robert B. Sherman
フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン	作曲／Bart Howard エレクトーン編曲／小林淑子	アビニヨンの橋の上で	フランス民謡 エレクトーン編曲／長野洋二
別れの曲	作曲／F. F. Chopin エレクトーン編曲／鳥居達子	天国と地獄	作曲／J. Offenbach エレクトーン編曲／鳥居達子
ロッキーのテーマ	作曲／Bill Conti エレクトーン編曲／篠崎秀子	コミカル・トレイン	作曲／渡辺睦樹 エレクトーン編曲／水野義子
浜辺の歌	作曲／成田為三 エレクトーン編曲／稲垣千章	サークル・オブ・ライフ	Music by Elton John Words by Tim Rice
ブラジル	作曲／Ary Barroso エレクトーン編曲／矢口理津子	赤とんぼ	作曲／山田耕筰 エレクトーン編曲／矢口理津子
グリーンスリーブス	イングランド民謡 エレクトーン編曲／峰村知子	トロイカ	ロシア民謡 エレクトーン編曲／小林陽一
夜空ノムコウ	作曲／川村結花 エレクトーン編曲／古賀かおり	世界に一つだけの花	作曲／槇原敬之 エレクトーン編曲／小林陽一

6級

TGT01095881 【新エレクトーン・レパートリー6級】		TGT01095890 【新こどものエレクトーン・レパートリー 6級】	
威風堂々	作曲／E. Elgar エレクトーン編曲／鳥居達子	いつか王子様が	Music by Frank Churchill
遥かなる影 ～クロス・トゥー・ユー～	作曲／Burt Bacharach エレクトーン編曲／篠崎秀子	フニクリ・フニクラ	作曲／Luigi Denza エレクトーン編曲／水野義子
もみじ	作曲／岡野貞一 エレクトーン編曲／古賀かおり	夕焼け小焼け	作曲／草川 信 エレクトーン編曲／矢口理津子
愛を感じて	Music by Elton John Words by Tim Rice	セサミストリートの テーマ	作曲／Bruce Hart, Joseph Raposo and Jon Stone エレクトーン編曲／長野洋二
私のお気に入り ～マイ・フェア・リット・シングス～	作曲／Richard Rodgers エレクトーン編曲／小林淑子	虹の彼方に	作曲／Harold Arlen エレクトーン編曲／峰村知子
TSUNAMI	作曲／桑田佳祐 エレクトーン編曲／小林陽一	ラデツキー行進曲	作曲／J. Strauss I エレクトーン編曲／稲垣千章
マシュ・ケ・ナダ	作曲／Jorge Ben エレクトーン編曲／峰村知子	ルパン三世のテーマ	作曲／大野雄二 エレクトーン編曲／松井みか
TRUTH	作曲／安藤まさひろ エレクトーン編曲／小林陽一	エル・クンパンチェロ	作曲／R. Hernandez エレクトーン編曲／稲垣千章

(2025年11月現在)

※上記 10～6級曲集に対応の別売りのデータ販売について

ELS-02用	10～6級 販売中
ELS-01用	10～6級 販売中
ELB-01 (ステージアミニ) 用	10・9・8級のみ 販売中

ELB-01 (ステージアミニ) 用 7・6級、及び EL シリーズ用 10～6級については販売の予定はありません。

※別売データの変更や楽曲の差し替え等により商品コードが変更になる場合があります。

その場合は、旧商品での使用も可能です。

楽曲の差し替えの場合には旧商品に掲載されている曲も課題曲とします。

【商品コード・楽曲変更情報】

〈2025年11月現在〉

曲集	現商品コード	旧商品コード		旧商品に掲載されている曲 (現商品では削除されている曲)
新エレクトーン・レパートリー 10級 Vol.1	TGT01095876	TELO1087116	GTE746100	
新エレクトーン・レパートリー 10級 Vol.2	TGT01095877	TELO1087117	GTE746110	
新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.1	TGT01095885	TELO1087124 TELO1090586	GTE746180	
新こどものエレクトーン・レパートリー 10級 Vol.2	TGT01095886	TELO1087125 TELO1090587	GTE746190	
新エレクトーン・レパートリー 9級	TGT01095878	TELO1087118 TELO1090857	GTE746120	
新こどものエレクトーン・レパートリー 9級	TGT01095887	TELO1087126 TELO1090585	GTE746200	
新エレクトーン・レパートリー 8級	TGT01095879	TELO1087119	GTE746130	
新こどものエレクトーン・レパートリー 8級	TGT01095888	TELO1087127 TELO1090854	GTE746210	
新エレクトーン・レパートリー 7級	TGT01095880	TELO1087120 TELO1090855	GTE746140	
新こどものエレクトーン・レパートリー 7級	TGT01095889	TELO1087128 TELO1088844	GTE746220	トゥモロー 作曲／Charles Strouse エレクトーン編曲／稲垣千草
新エレクトーン・レパートリー 6級	TGT01095881	TELO1087121 TELO1090583	GTE746150	
新こどものエレクトーン・レパートリー 6級	TGT01095890	TELO1087129	GTE746230	

◆表中の商品コードのものや曲も使用できます。

商品コードの変更や楽曲の差し替えの最新情報は、[ヤマハ音楽振興会グレードサイト](http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/)でお知らせいたします。
<http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

編曲演奏（Aコースのみ）

「編曲内容（曲想）を表現している演奏であるか」という点について判定します。
編曲した内容を十分表現できるよう、練習しましょう。

10・9級

20～21ページに載っている課題の中より、1曲選び1～2コーラスに編曲演奏してください。
基本は和音づけ または伴奏づけとします。2コーラス目で伴奏の変化やメロディーの変奏を行うこともよいでしょう。

【試験実施方法】

- 1) 受験者が選曲した課題と同じメロディー譜（20～21ページの課題と同じ楽譜）を試験官が提示します。
- 2) 編曲演奏します。
 - ・ 予め編曲して書いた楽譜を持参し、見ながら演奏してもかまいません。
 - ・ レジストデータも準備してきてください。

【課題例】

こぐまのマーチ

外国の曲

The musical score for 'こぐまのマーチ' is presented on two staves. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 2/4. The melody is written in a simple, rhythmic style. The first staff contains four measures with chords C, C, G7, and C. The second staff contains four measures with chords C, C, G7, and C. The piece concludes with a double bar line.

【実施例】

①和音づけ例

Allegretto 外国の曲

C C G7 C

C C G7 C

②伴奏づけ例

Allegretto

C C G7 C

C C G7 C

③和音づけ+メロディー変奏例

Allegretto

First system of Example 3. The right hand plays a melody of eighth notes with slurs. The left hand plays chords: C, C, G7, and C. The bass line has whole notes.

Second system of Example 3. The right hand plays the same melody. The left hand plays chords: C, C, G7, and C. The bass line has whole notes.

④伴奏づけ+メロディー変奏例

Allegretto

First system of Example 4. The right hand plays the same melody. The left hand plays chords: C, C, G7, and C. The bass line has quarter notes.

Second system of Example 4. The right hand plays the same melody. The left hand plays chords: C, C, G7, and C. The bass line has quarter notes.

【演奏例】**■ 1 コーラスの場合**

- ・①和音づけ例
- ・②伴奏づけ例

■ 2 コーラスの場合

- ・①和音づけ例と②伴奏づけ例を続けます。
- ・①和音づけ例と③和音づけ+メロディー変奏例を続けます。
- ・①和音づけ例と④伴奏づけ+メロディー変奏例を続けます。
- ・②伴奏づけ例と④伴奏づけ+メロディー変奏例を続けます。

※アーティキュレーションなどは編曲内容に応じて、受験者が決めてください。

10・9 級編曲演奏課題

みつばちマーチ

外国の曲

1

メリーさんのひつじ

アメリカの曲

2

結婚の踊り

エストニアの曲

3

とけい

外国の曲

4

きつつき

C. ツェルニー

5

ぞう

外国の曲

6

8・7級

28～30ページに載っている課題の中より1曲選び、8級は1～2コーラス、7級では2コーラスの編曲演奏をしてください。

8級、7級とも伴奏づけをし、2コーラスの場合は2コーラス目で伴奏の変化、メロディーの変奏などを行います。

【試験実施方法】

- 1) 受験者が選曲した課題と同じメロディー譜(28～30ページの課題と同じ楽譜)を試験官が提示します。
- 2) 編曲演奏します。
 - ・ 予め編曲して書いた楽譜を持参し、見ながら演奏しても構いません。
 - ・ レジストデータも準備してきてください。

【課題例】

帰省

ドイツの曲

The image displays a musical score for the piece '帰省' (Homecoming), identified as a German song. The score is written in 3/4 time and consists of a single melodic line and four different accompaniment patterns. The melody is as follows: C4 (quarter), D4 (quarter), E4 (quarter), F4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), B4 (quarter), A4 (quarter), G4 (quarter), F4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter), C4 (quarter). The four accompaniment patterns are:

1. Chords: C (quarter), F (quarter), G7 (quarter), C (quarter).

2. Chords: C (quarter), F (quarter), G7 (quarter), C (quarter).

3. Chords: C (quarter), G7 (quarter), G7 (quarter), C (quarter).

4. Chords: C (quarter), F (quarter), G7 (quarter), C (quarter).

[実施例]

①伴奏づけ例

Allegretto

C Cl. St. など F G7 C

C F G7 C

C G7 G7 C

C F G7 C

②伴奏づけ+メロディー変奏例

Allegretto

The score is divided into four systems, each with four measures. The first system is marked **Allegretto** and has a tempo of 3/4. The melody is in treble clef, and the accompaniment is in bass clef. The first system has four measures with chords C, F, G7, and C. The second system is identical to the first. The third system has four measures with chords C, G7, G7, and C. The fourth system is identical to the first. The bass line consists of a simple rhythmic pattern of quarter notes.

③伴奏の変化例

Allegretto

C F G7 C

C F G7 C

C G7 G7 C

C F G7 C

④ 伴奏の変化+メロディー変奏例

Allegretto

C F G7 C

C F G7 C

C G7 G7 C

C F G7 C

【演奏例】**■ 1 コーラスの場合 (8 級のみ)**

①伴奏づけ例

③伴奏の変化例

■ 2 コーラスの場合 (8・7 級)

- ・ ①伴奏づけ例と②伴奏づけ+メロディー変奏例を続けます。
- ・ ①伴奏づけ例と③伴奏の変化例を続けます。
- ・ ①伴奏づけ例と④伴奏の変化+メロディー変奏例を続けます。
- ・ ③伴奏の変化例と④伴奏の変化+メロディー変奏例を続けます。

※アーティキュレーションなどは編曲内容に応じて、受験者が決めてください。

8・7 級編曲演奏課題

茶色の小びん

アメリカの曲

1

F B^b C7 F

F B^b C7 F

F B^b C7 F

F B^b C7 F

わらの中の七面鳥

アメリカの曲

2

G G G D7

G G G D7 G

G G C C

G G D7 G D7 G

町のいざかやにて

イギリスの曲

3

F F F F

C7 C7 C7 C7

F F B^b B^b

C7 C7 F F

ヤンキー・ドゥードル

アメリカ民謡

4

C C G7 C C G7

C F G7 C

F F C C

F F C G7 C

気のいいアヒル

ボヘミア民謡

5

Chords: G, G, G, D7, D7, D7, D7, G, G, D7, D7, G, G, Am, D7, G

アメージング・グレース

作曲者不詳

6

Chords: F, F, F, B^b, F, F, F, C7, C7, F, F(7), B^b, F, F, C7, F, F

6級

36～38ページに載っている課題の中より、1曲選び2コーラス以上の編曲演奏をしてください。2コーラス以降は、1コーラス目に対し、リズム変奏、メロディーフェイク、重音奏、レジストの変化等、曲想に応じ何らかの変化をつけます。曲としてのまとめり（曲の盛り上げ等）も大切にしてください。

【試験実施方法】

- 1) 受験者が選曲した課題と同じメロディー譜（36～38ページの課題と同じ楽譜）を試験官が提示します。
- 2) 編曲演奏します。
 - ・ 予め編曲して書いた楽譜を持参し、見ながら演奏してもかまいません。
 - ・ レジストデータも準備してきてください。

【課題例】

川べで君と

黒人霊歌

[実施例]

Swing ♩=♩³

C F G7 U.K. Tp.

L.K. Br.

C

G7 C

C

Dm G7 C Vib.

F C

G7 C C7

F C

Dm G7 C Cl.

C

G7 C

Musical score for the first system, measures 1-4. The treble clef contains a melody with a G7 chord in measure 1 and a C chord in measure 3. The bass clef contains a bass line with chords. A separate bass line is shown below the main bass line.

C

Musical score for the second system, measures 5-8. The treble clef contains a melody with a C chord in measure 5. The bass clef contains a bass line with chords. A separate bass line is shown below the main bass line.

Dm C G7 C Tp.

Musical score for the third system, measures 9-12. The treble clef contains a melody with Dm, C, G7, and C chords. A trumpet part (Tp.) is indicated in measure 12. The bass clef contains a bass line with chords. A separate bass line is shown below the main bass line.

F C

Musical score for the fourth system, measures 13-16. The treble clef contains a melody with F and C chords. The bass clef contains a bass line with chords. A separate bass line is shown below the main bass line.

G7 C C7

Musical score for the fifth system, measures 17-20. The treble clef contains a melody with G7, C, and C7 chords. The bass clef contains a bass line with chords. A separate bass line is shown below the main bass line.

The image displays two systems of musical notation for piano. Each system consists of a grand staff with a treble clef and a bass clef. The first system features a melody in the treble clef and a bass line in the bass clef. Chords are indicated above the treble staff: 'F' at the beginning, and 'C' above the second and third measures. The second system continues the melody and bass line. Chords are indicated as 'Dm', 'C', 'G7', and 'C' above the treble staff. The final measure of the second system includes a 'Vib.' marking above the treble staff, indicating a vibrato effect. The music is written in a style typical of a piano accompaniment for a song.

6 級編曲演奏課題

聖者の行進

Medium

アメリカ民謡

1

F C7

C7 F F7 B^b

B^bm F C7 F

さらばジャマイカ

Medium

西インド諸島民謡

2

G C D7 G

G C D7 G

G Am D7 G

G Am G D7 G

峠の我が家

アメリカ民謡

3 *Slowly* C F

C D7 G7

C F Fm

C G7 C *Fine*

G7 C

Am D7 G7 *D.S.*

Detailed description: The score is written in treble clef with a 3/4 time signature. It consists of six staves of music. The first staff begins with a '3' and the tempo marking 'Slowly'. Chords C and F are indicated above the first two staves. The second staff has chords C, D7, and G7. The third staff has chords C, F, and Fm. The fourth staff has chords C, G7, and C, ending with the marking 'Fine'. The fifth staff has chords G7 and C. The sixth staff has chords Am, D7, and G7, ending with the marking 'D.S.'. The music features a mix of quarter and eighth notes, with some notes beamed together and some held across measures.

黒い瞳

ロシア民謡

Medium fast

4

The musical score consists of four staves of music in 3/4 time. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Medium fast'. The score includes the following elements:

- Staff 1:** Starts with a treble clef and a 4-measure rest. The melody begins with a quarter note F#4, followed by quarter notes G4, A4, and B4. A repeat sign follows. The melody continues with quarter notes C5, B4, A4, and G4. Chords E7 and Am are indicated above the staff.
- Staff 2:** Continues the melody with quarter notes F#4, G4, A4, and B4. Chords E7, Am, and Dm are indicated above the staff.
- Staff 3:** Continues the melody with quarter notes C5, B4, A4, and G4. Chords Am and E7 are indicated above the staff. A first ending bracket labeled '1.' spans the final two measures.
- Staff 4:** Continues the melody with quarter notes F#4, G4, A4, and B4. Chords Am, E7, and Am are indicated above the staff. A second ending bracket labeled '2.' spans the final two measures, which end with a double bar line.

初見演奏 (Bコースのみ)

「調・拍子・音・リズム」の4つの要素を捉えて演奏できるかどうかを判定します。この4つの要素を意識しながら、「楽譜を読んですぐに弾く」という練習を行いましょう。

【試験実施方法】

- 1) 30秒程度問題を見ます。(予見)
- 2) 試験官の合図があったら、楽譜を見ながら通して演奏します。
(例「では、始めてください」「はい、どうぞ」)
※調や拍子を必ず確認してから演奏するよう心がけましょう。

【各級における出題範囲】

10～8級は P. 7、7・6級は P. 8 をご確認ください。

10級

【課題例】

The musical score is for a 10th-grade example problem. It is written in treble and bass clefs, 2/4 time, with a key signature of one sharp (F#). The melody in the treble clef consists of a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F#4, E4, D4, C4. The bass clef has a whole rest in the first two measures, followed by a whole note G2 in the third measure, and a whole note F#2 in the fourth measure. A fermata is placed over the final note of the melody.

8級

[課題例]

The first system of the musical score consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a common time signature (C). It begins with a first finger (1) on a quarter note, followed by a series of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. A slur covers the first two measures. The lower staff is in bass clef with a common time signature (C). It features a series of chords: a triad of G2, B2, D3 in the first measure; a triad of G2, B2, D3 in the second measure; a triad of G2, B2, D3 with a sharp sign (F#) in the third measure; and a triad of G2, B2, D3 in the fourth measure.

The second system of the musical score consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a common time signature (C). It continues with eighth notes: F#4, E4, D4, C4, B3, A3, G3. A slur covers the first two measures. The lower staff is in bass clef with a common time signature (C). It features a series of chords: a triad of G2, B2, D3 in the first measure; a triad of G2, B2, D3 in the second measure; a triad of G2, B2, D3 with a sharp sign (F#) in the third measure; and a triad of G2, B2, D3 in the fourth measure. The system concludes with a double bar line.

7級

【課題例】

Moderato

The musical score is written for piano and consists of three systems. Each system has a treble and bass staff. The key signature has two flats (B-flat major), and the time signature is common time (C). The tempo is marked 'Moderato'. The first system begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The second system includes a crescendo (*cresc.*) marking. The third system includes mezzo-piano (*mp*) and mezzo-forte (*mf*) dynamics. The bass line features a simple harmonic accompaniment with a final cadence.

6級

[課題例]

Moderato

f

mf *cresc.*

f

伴奏づけ（10～8級Bコースのみ）

「メロディーに対し適切な調・和音がわかる力」と「メロディーに合う伴奏を、流れの中で演奏できる力」を判定します。簡単なメロディーに和音をつけ、伴奏形にして演奏する練習を反復して行いましょう。

出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

【各級における出題範囲】

P. 7 をご確認ください。

10級

【課題例】

Allegretto

10級の〔伴奏づけ〕の課題には、ベース音が提示されています。

【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 3) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、提示されたベース音に基づいて適切な和音をつけ演奏します。

「1、2、3 (ハイ)」
Allegretto

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

- 4) 続けて、それを伴奏の形で演奏します。

Allegretto

試験官

受験者

※ベース（ペダル）と左手による演奏の場合の伴奏は自動演奏機能を用いず、ノーマル演奏によるものとします。

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるよう練習しておくといでしょう。

9級

【課題例】

Andantino

The musical score is written for piano accompaniment. It features two systems of staves. The first system includes a treble clef staff with a melodic line and a bass clef staff with a simple bass line. The second system continues the melody and bass line. The key signature has one flat (B-flat) and the time signature is common time (C). The tempo is marked 'Andantino'. The melody in the first system is: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), B4 (quarter), A4 (quarter), G4 (quarter), F4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter). The bass line in the first system is: G3 (half), G3 (half). The melody in the second system is: C5 (quarter), B4 (quarter), A4 (quarter), G4 (quarter), F4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter), C4 (half), B3 (half), A3 (half). The bass line in the second system is: G3 (half), G3 (half).

9級の〔伴奏づけ〕の課題には、ベース音が提示されています。

【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 3) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、提示されたベース音に基づいて適切な和音をつけ演奏します。

「1、2、3、(ハイ)」

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

試験官

受験者

※ベース（ペダル）と左手による演奏の場合の伴奏は自動演奏機能を用いず、ノーマル演奏によるものとします。

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるように練習しておくといでしょう。

8級

[課題例]

Allegretto

The musical score is for an 8th-grade exercise in G major and 3/4 time, marked Allegretto. It consists of two systems of four measures each. The melody is written in the treble clef, starting on G4. The first system shows the first four measures, and the second system shows the final four measures. The bass clef is empty except for a starting chord in the first measure of the first system.

9級までとは違い、8級の課題ではベース音は提示されませんが、開始和音が音符で記されます。メロディーと和音の関係をベース音も含め理解し、和音の配置にも気をつけながら演奏してください。

【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、開始和音に気をつけて楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 3) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、開始和音に続いて適切な和音をつけ演奏します。

「1、2、3、(ハイ)」

Allegretto

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

- 4) 続けて、それを伴奏の形で演奏します。

Allegretto

試験官

受験者

(※伴奏は自動機能を用いずノーマル演奏によるものとします。)

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるように練習しておくといでしょう。

即興演奏（7・6級Bコースのみ）

「メロディーに合う伴奏を演奏できる力」と「曲全体を変奏できる力」を判定します。簡単なメロディーを自分なりにアレンジすることを多く経験してみましょう。

出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

【各級における出題範囲】

P. 8 をご確認ください。

7級

【課題例】

【試験実施方法】

- 1) 与えられた課題のメロディーに目を通します。
- 2) 即興演奏を行うために、課題のメロディーだけを弾きメロディーを把握します。正しく読めない場合は試験官が状況に応じフォローを行います。

フォロー例 「試験官と一緒にメロディーを読む」、「試験官がメロディーを歌う」、
「試験官がメロディーを区切って弾く（受験者はそのとおりにまねをする）」

※メロディーの演奏は、評価の対象とはなりません。

3) そのメロディーに和音をつけて演奏します。

※和音づけは長音符での引き伸ばし(ベタ弾き)で行います。

※和音づけが上手くいかない場合は、試験官が状況に応じフォローを行います。

※和音づけ以降は、評価の対象となります。

Allegretto

受験者

4) 次に伴奏形に変えて、通して演奏します。

Allegretto

受験者

5) 続けて曲全体を変奏します。

Allegretto

受験者

The musical score consists of two systems of music. Each system has three staves: a grand staff (treble and bass clefs) and a separate bass clef staff. The first system shows the first four measures of the piece. The second system shows the next four measures. The music is written for a single performer (受験者) on a grand staff (treble and bass clefs). The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef. The tempo is marked 'Allegretto'.

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏でき、変奏できるよう練習しておくといでしょう。伴奏形に変えた時と曲全体を変奏した時に伴奏形が同じであっても構いませんが、曲全体を変奏する際に伴奏形も更に変えることができた場合は評価の対象(加点要素)となります。

6級

[課題例]

The first system of the exercise consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and a common time signature (C). It contains a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4. This line is bracketed with a slur. The middle and bottom staves are in bass clef with the same key signature and time signature, and they are currently empty.

The second system continues the exercise. The top staff has a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4. This line is bracketed with a slur. The middle and bottom staves are in bass clef with the same key signature and time signature, and they are currently empty.

The third system continues the exercise. The top staff has a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4. This line is bracketed with a slur. The middle and bottom staves are in bass clef with the same key signature and time signature, and they are currently empty.

The fourth system concludes the exercise. The top staff has a melodic line of eighth notes: G4, A4, B-flat4, C5, B-flat4, A4, G4. This line is bracketed with a slur. The middle and bottom staves are in bass clef with the same key signature and time signature, and they are currently empty. The system ends with a double bar line.

【試験実施方法】

- 1) 与えられた課題のメロディーに目を通します。
- 2) 即興演奏を行うために、課題のメロディーだけを弾きメロディーを把握します。正しく読めない場合は試験官が状況に応じフォローを行います。

フォロー例 「試験官と一緒にメロディーを読む」、「試験官がメロディーを歌う」、
「試験官がメロディーを区切って弾く(受験者はそのとおりにまねをする)」

※メロディーの演奏は、評価の対象とはなりません。

- 3) そのメロディーに和音をつけて演奏します。

※和音づけは長音符での引き伸ばし(ベタ弾き)で行います。

※和音づけが上手くいかない場合は、試験官が状況に応じフォローを行います。

※和音づけ以降は、評価の対象となります。

Moderato

The musical score is titled "Moderato" and is written for piano. It consists of four systems of music. Each system includes a grand staff (treble and bass clefs) and a separate bass line. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef. The key signature has two flats (B-flat and E-flat), and the time signature is common time (C). The score is divided into four measures per system, with a final double bar line at the end of the fourth system.

4) 次に伴奏形に変えて、通して演奏します。

Moderato

The musical score is written for piano accompaniment in B-flat major and 4/4 time. It is divided into four systems, each containing three staves: a grand staff (treble and bass clefs) and a separate bass line. The tempo is marked 'Moderato'. The melody is primarily in the treble clef, often spanning across the grand staff with a slur. The accompaniment is in the bass clef, featuring chords and moving lines. The score concludes with a double bar line at the end of the fourth system.

5) 続けて曲全体を変奏します。

Moderato

The musical score is presented in four systems. Each system consists of three staves. The top staff is in treble clef and contains a melodic line with various note values and rests, often grouped by a slur. The middle staff is a grand staff (treble and bass clefs) and contains chords and a bass line. The bottom staff is in bass clef and contains a simple bass line. The tempo is marked 'Moderato'. The key signature has two flats (B-flat and E-flat), and the time signature is common time (C). The piece concludes with a double bar line and repeat signs in the final measure of the fourth system.

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏でき、変奏できるよう練習しておくといでしょう。伴奏形に変えた時と曲全体を変奏した時に伴奏形が同じであっても構いませんが、曲全体を変奏する際に伴奏形を更に変えることができた場合は評価の対象(加点要素)となります。

聴奏 (Bコースのみ)

聴奏とは、聴いた音楽を演奏（再現）することです。この項目では聴いたメロディー・ハーモニーを再現できる力について判定します。10～8級ではメロディー聴奏とハーモニー聴奏が別の項目になっていますが、7・6級ではメロディーとハーモニーが含まれた曲を聴奏します。聴奏の練習を行うことも大切ですが、楽曲を演奏する際などにメロディーやハーモニーをよく聴くことも重要です。出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

【各級における出題範囲】

10～8級は P. 7 をご確認ください。

10級

メロディー聴奏

【課題例】

【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

試験官

- 3) 次に試験官が伴奏つきで前半を弾きます。アインザッツ※に続いて前半のメロディーを聴奏してください。
(その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

受験者

試験官

- 4) 続いて試験官が後半を弾きますので、同様に聴奏してください。

受験者

試験官

ハーモニー聴奏

【課題例】

() 音は〔ベースと左手〕の場合の左手

※両手伴奏の場合、右手は、開始和音が第5音高位の配置
 ※1小節につき1種類の和音

【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

9級

メロディー聴奏

【課題例】

Moderato

【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

試験官

3) 次に試験官が伴奏つきで前半を弾きます。アインザッツ※に続いて前半のメロディーを聴奏してください。
 (その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

4) 続いて試験官が後半を弾きますので、同様に聴奏してください。

ハーモニー聴奏

【課題例】

〔両手伴奏〕

【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

〔ベースと左手〕

【試験実施方法】

- 1) 試験官が〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か申込書をもとに確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

8級

メロディー聴奏

【課題例】

Moderato

【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

Moderato

試験官

- 3) 次に試験官が2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いてメロディーを聴奏してください。(その際、試験官は伴奏のみ弾きます。)※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

System 1 of the musical score. It consists of three staves: a single treble clef staff at the top, and a grand staff (treble and bass clefs) below. The key signature is one sharp (F#). The first two staves have a long slur over the first two measures. The third staff has a slur over the first two measures. The word "ハイ" is written above the second measure of the grand staff's treble clef.

System 2 of the musical score. It consists of three staves: a single treble clef staff at the top, and a grand staff (treble and bass clefs) below. The key signature is one sharp (F#). The first two staves have a long slur over the first two measures. The third staff has a slur over the first two measures. The word "ハイ" is written above the second measure of the grand staff's treble clef.

System 3 of the musical score. It consists of three staves: a single treble clef staff at the top, and a grand staff (treble and bass clefs) below. The key signature is one sharp (F#). The first two staves have a long slur over the first two measures. The third staff has a slur over the first two measures. The word "ハイ" is written above the second measure of the grand staff's treble clef.

ハーモニー聴奏

【課題例】

〔ベースと左手〕

【試験実施方法】

- 1) 8級のハーモニー聴奏は基本的には〔ベースと左手〕ですが、申込書をもとに〔両手伴奏〕か〔ベースと左手〕か確認をとります。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 3) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

聴奏 7・6級 (Bコースのみ)

【各級における出題範囲】

P. 8 をご確認ください。

7級

【課題例】

Moderato

The musical score is for a piece titled 'Moderato'. It is written for piano and consists of two systems, each with four measures. The key signature is one flat (B-flat) and the time signature is 3/4. The right hand (RH) plays a melodic line starting on G4, moving up stepwise to D5 in the first two measures, then moving down stepwise to G4 in the last two measures. The left hand (LH) plays a simple accompaniment pattern: a whole note chord in the first measure, a whole note chord in the second measure, and a half note chord in the third and fourth measures. The first system ends with a repeat sign, and the second system ends with a double bar line.

【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して弾きます。

Moderato

This is an identical copy of the musical score for the 7th grade example piece, 'Moderato', as shown above. It consists of two systems of piano music in 3/4 time with a key signature of one flat (B-flat). The right hand plays a melodic line with a slur, and the left hand plays a simple accompaniment pattern.

3) 次に試験官が2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いて曲全体(両手・ベースとも)を聴奏してください。 ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

The first system consists of two systems of staves. The top system has a vocal line in the treble clef and a piano accompaniment in the bass clef. The vocal line has a melodic phrase starting in the third measure, marked with a slur and the Japanese text "ハイ". The piano accompaniment consists of whole rests in all four measures. The second system also has a vocal line and piano accompaniment. The vocal line continues the melodic phrase from the first system, also marked with a slur and "ハイ". The piano accompaniment again consists of whole rests in all four measures.

The second system consists of two systems of staves. The top system has a vocal line in the treble clef and a piano accompaniment in the bass clef. The vocal line has a melodic phrase starting in the third measure, marked with a slur and the Japanese text "ハイ". The piano accompaniment has whole rests in the first two measures, followed by a quarter note in the third measure and a quarter rest in the fourth measure. The second system also has a vocal line and piano accompaniment. The vocal line continues the melodic phrase from the first system, marked with a slur and "ハイ". The piano accompaniment has a quarter note in the first measure, followed by a quarter rest in the second measure, and whole rests in the third and fourth measures.

6級

[課題例]

Allegretto

The first system of the musical score consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). It contains a melodic line starting with a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, and C5, then a quarter note B4, and finally a quarter note A4. The middle and bottom staves are in bass clef with the same key signature and time signature. They contain whole rests for the first three measures, followed by a whole note G3 in the fourth measure.

The second system of the musical score consists of three staves. The top staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). It contains a melodic line starting with a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, and C5, then a quarter note B4, and finally a quarter note A4. The middle and bottom staves are in bass clef with the same key signature and time signature. The middle staff contains a series of chords: two chords of G4 and B4, followed by a chord of G4 and B4, and finally a chord of G4 and B4. The bottom staff contains a series of notes: two quarter notes G3 and A3, followed by two quarter notes G3 and A3, and finally two quarter notes G3 and A3.

【試験実施方法】

- 1) 試験官が、試験官用・受験者用エレクトーンのレジストを同じ傾向の音色にセットします。
- 2) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

Allegretto

- 3) 次に試験官が伴奏つきで2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いて曲全体(両手・ベースとも)を聴奏してください。 ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Allegretto

The musical score is presented in two systems. Each system consists of three staves: a treble clef staff for the piano's right hand, a bass clef staff for the piano's left hand, and a separate bass clef staff below. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The first system shows a melodic line in the right hand starting with a quarter note, followed by a half note, and then a quarter note. The left hand provides harmonic support with chords and single notes. The second system features a more complex melodic line in the right hand, including a slur over a series of eighth notes. A dynamic marking 'ハイ' (HAI) is placed above the right hand staff in the second system. The score concludes with double bar lines at the end of each system.

V 結果通知について

ヤマハ音楽振興会認定の試験官2名が審査を行い、受験者ご自身の学習範囲に対する到達度（音楽力）について以下の内容をお知らせします。

①各項目の到達度

試験の各項目における、学習範囲に対する到達度（身についた音楽力）について点数（10点満点）で表記されます。※5点が合格ライン、7点は「標準」、10点は「学習範囲の力がとてもよく身についている」という意味合いとなります。

②総合的な到達度

各項目の到達度（①）の合計点により、受験級が求める学習範囲に対する総合的な到達度（音楽力）が決定されます。

S～Eの6段階で表記されます。

合格	S	合計点が49～50点	受験級の学習範囲を大幅に上回る力がついています。
	A	合計点が41～48点	受験級の学習範囲の力は十分ついています。
	B	合計点が33～40点	受験級の学習範囲の力はついています。さらに確実な力をつけましょう。
	C	合計点が25～32点	受験級の学習範囲の力はほぼついています。バランスよく力をつけましょう。
不合格	D	合計点が17～24点	受験級の学習範囲まであと一息です。しっかり力をつけましょう。
	E	合計点が16点以下	受験級の学習範囲に達していません。もう一度学習しなおしましょう。

③今後の学習へのアドバイス

「日々のレッスンで学び、身につけている音楽力」と「音楽学習を続ける上で、より音楽力を高めるためのアドバイス」の両方が記載されます。

VI 合否について

- ・総合的な到達度S～C（合計点が25点以上）を得た場合が、合格となります。
- ・合計点が25点以上であっても、各項目において2点もしくは1点が一つでもついていた場合は不合格となります。

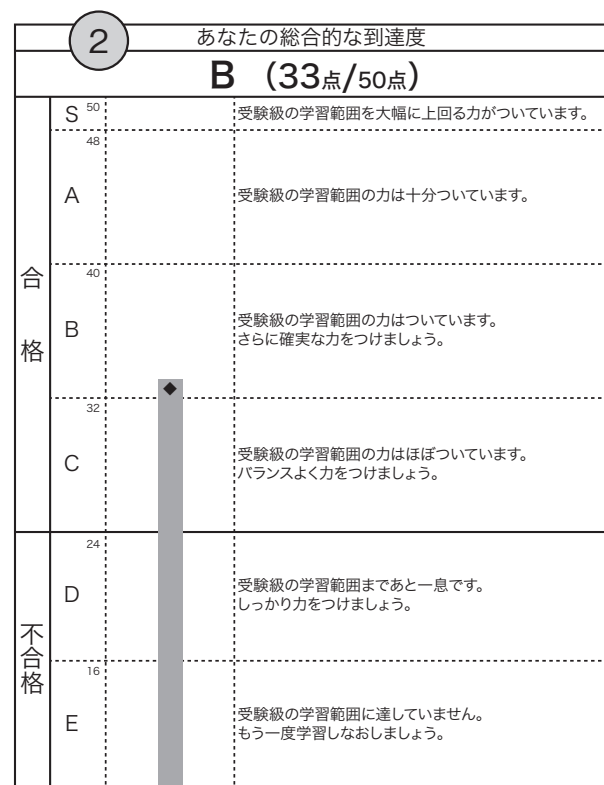
<結果通知のイメージ>

～ エレクトーン演奏グレード9級 B コース ～

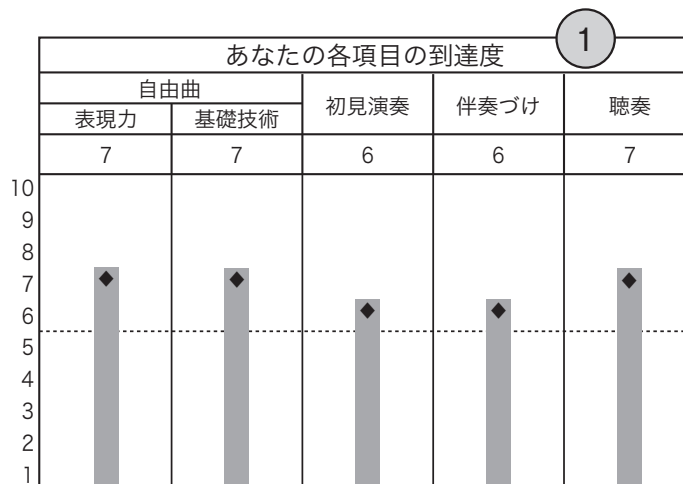
2025年11月1日

山葉 花子様

アドバイスをよく読み、これからも次の目標に向けがんばりましょう！



※合計点が25点以上でも「1～2点」が1項目以上ついた場合は不合格となります。



☆☆今後の学習へのアドバイス☆☆

自由曲は、曲想を感じ、表現しようとしています。
 聴奏は、左手（ベース）の高さに注意して再現できています。
 初見演奏は、一つひとつの音を読むのではなく、流れで読む練習を積み重ねましょう。
 伴奏づけは、色々な伴奏形を覚え、余裕をもって演奏できるよう練習しましょう。
 すべての項目で安定した力がつけられるようがんばりましょう。

※結果通知は試験実施後1ヶ月程度でヤマハ音楽振興会から、受験された会場あるいは担当の先生を通してお届けします。

参考資料 スケールとカデンツ(Bコース 10級～8級の出題範囲)

ピアノ・エレクトーン B コース 10 級～ 8 級の出題範囲である調の主なスケールとカデンツです。初見演奏・伴奏づけ・聴奏を勉強する際に、参考にしてください。

※ 尚、掲載されているスケールのオクターブ数やカデンツの和音の形については、ヤマハ音楽教室で使用している教材「ジュニア」の内容に準拠しています。

B コース 10 級

<八長調>

Musical notation for the 10th grade scale in C major, 8-measure scale. The notation is in treble and bass clefs, common time. The scale is: C4-D4-E4-F4-G4-A4-B4-C5 (treble) and C3-D3-E3-F3-G3-A3-B3-C4 (bass). Fingerings are indicated above and below notes.

(両手伴奏)

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (both hands). The notation is in treble and bass clefs, common time. The right hand plays chords: C5, D5, E5, F5. The left hand plays single notes: C4, D4, E4, F4. Fingerings are indicated.

(ベースと左手)

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (bass and left hand). The notation is in bass clefs, common time. The left hand plays chords: C5, D5, E5, F5. The right hand plays single notes: C4, D4, E4, F4. Fingerings are indicated.

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (both hands). The notation is in treble and bass clefs, common time. The right hand plays chords: C5, D5, E5, F5. The left hand plays single notes: C4, D4, E4, F4. Fingerings are indicated.

Musical notation for the 10th grade scale accompaniment (bass and left hand). The notation is in bass clefs, common time. The left hand plays chords: C5, D5, E5, F5. The right hand plays single notes: C4, D4, E4, F4. Fingerings are indicated.

<ト長調>

<ハ長調>

<イ短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】

Bコース 9級

<八長調>

1 2 3 1 2 3 4 1 3 1 5 1 3 1 4 1 3 1

5 4 3 2 1 3 2 1 4 3 1 3 1 4 1 3 1 5

5 1 1

5 (1)

5 1 1

5 1 1

5 (1)

5 1 1

5 1 1

5 (1)

5 1 1

<ト長調>

1 2 3 1 2 3 4 1 3 1 5 1 3 1 4 1 3 1

5 4 3 2 1 3 2 4 3 1 3 1 4 3 1 5

5 (1) (a)

(a)

5 (1) (a) (a)

(a) (a)

5 (1) (a) (a)

(a) (a)

< 長調 >

1 2 3 4 1 2 3 1 3 4 1 4 1 4 1 3 1 4 1

5 4 3 2 1 3 2 1 4 1 3 1 3 1 4 3 1 3 1 4 5

5 (1) (Φ)

5 (1) (Φ) (Φ)

5 (1) (Φ) (Φ)

<イ短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】

<二短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】

Bコース 8級

<八長調>

※ 8級で出題される両手伴奏のポジションは、右手の開始和音が第5音高位または根音高位の2種類です。

(第5音高位)

(根音高位)



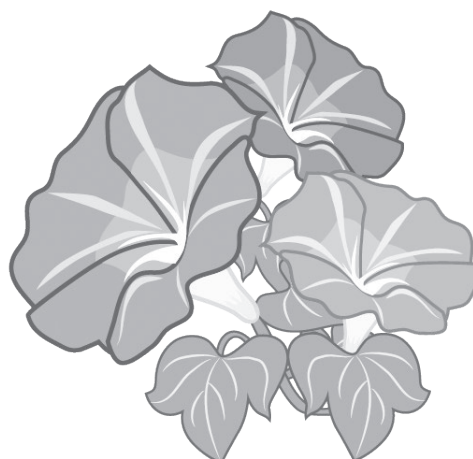
<ト長調>

Musical notation for the first system of a piece in D major, C time signature. The treble staff contains a melodic line with fingerings: 1 2 3 1 2 3 4, 1, 3 1, 5, 1 3, 1 4, 1 3, 1. The bass staff contains a bass line with fingerings: 5 4 3 2 1 3 2, 1, 4, 3, 1, 3 1, 1 3 1, 5. The piece concludes with a double bar line and a repeat sign.

Musical notation for the second system. The bass staff features chords and a simple accompaniment line with notes in parentheses: (F), (F), (F). The treble staff has a simple accompaniment line.

Musical notation for the third system. The bass staff features chords and a simple accompaniment line with notes in parentheses: (F), (F), (F), (F). The treble staff has a simple accompaniment line.

Musical notation for the fourth system. The bass staff features chords and a simple accompaniment line with notes in parentheses: (F), (F), (F). The treble staff has a simple accompaniment line.



< 長調 >

1 2 3 4 1 2 3 1 3 4 1 4 1 4 1 3 1 4 1

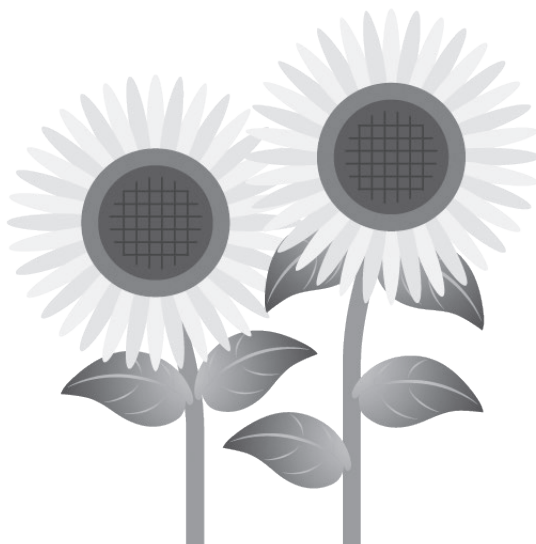
5 4 3 2 1 3 2 1 4 1 3 1 3 1 4 3 1 3 1 4 5

5 2 1

<イ短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】



<二短調>

【和声的短音階】

Musical score for harmonic short scale in B-flat minor. The score is written for piano in C major with a key signature of one flat (B-flat). It consists of two systems of staves. The first system shows the ascending and descending scales in both treble and bass clefs. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below the notes.

【旋律的短音階】

Musical score for melodic short scale in B-flat minor. The score is written for piano in C major with a key signature of one flat (B-flat). It consists of two systems of staves. The first system shows the ascending and descending scales in both treble and bass clefs. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below the notes.

Musical score for harmonic accompaniment. The score is written for piano in C major with a key signature of one flat (B-flat). It consists of two systems of staves. The first system shows the ascending and descending scales in both treble and bass clefs. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below the notes.

Musical score for melodic accompaniment. The score is written for piano in C major with a key signature of one flat (B-flat). It consists of two systems of staves. The first system shows the ascending and descending scales in both treble and bass clefs. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below the notes.

ヤマハ音楽振興会 〒153-8666 東京都目黒区下目黒 3-24-22
グレード事務局

■お問い合わせ先

こちらのお問い合わせフォームをご利用ください。
https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=508&lcl=ja_JP



本要項の全部または一部を権利者に無断で複製（コピー）することは、著作権の侵害にあたり、著作権法により罰せられます。
個人的な範囲を超える使用目的での複製はなさないようお願いいたします。

©2025 by Yamaha Music Foundation
2025年8月作成